

インターバンクの声（2016 年 10 月 12 日）

米主要企業の 2016 年 7－9 月期決算の発表が始まった。先陣を切った米アルミ最大手アルコアの決算は増収となったものの、1株当たりの利益が市場予想を下回ったことが投資家の失望につながり、ニューヨーク株式相場は下落に転じ、ドル円が 103 円台中盤までドル売りが進むきっかけになったようだ。米主要企業の四半期決算の発表がある度に、何もアルコアの決算内容の良し悪しだけで企業全体の当該四半期決算を占うことはないだろうと思うが、おそらく半分くらいは恒例行事のようになってしまっているのだろう。昨夜も、アルコアの決算以外にも、前日は堅調に推移していた原油先物相場が値を崩し、イエレン連邦準備制度理事会 (FRB) 議長が注目して欲しいと言っていた労働市場情勢指数の予想外の低下なども相場の重しになっていた。ただニューヨーク株価も終盤は少し持ち直しており、今後の企業決算や週末の米小売売上の結果次第で直ぐに調整されるだろう。FRB が年内に利上げする確率が一部では 70% 台にまで高まっているようだが、一応今晚発表される前回 (9 月 20－21 日分) の連邦公開市場委員会の議事要旨や週末のイエレン議長の講演内容によっては見通しが変化する可能性もあるので注意は必要だろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。